

京田辺市内路線バス無料の日

「2022」実施報告書

令和5年2月1日（水）

実施概要・実施実績

実施概要

- ▶ 名 称 京田辺市路線バス無料の日2022
- ▶ 実施日 令和4年11月6日（土）及び11月7日（日）
- ▶ 事業者 奈良交通株式会社 京阪バス株式会社
京都京阪バス株式会社
- ▶ 対 象 市内全バス路線
(ダイレクトエクスプレス直Qバス、京都松井山手線及び交野
なんば線や高速バス・リムジンバスについては適用外)
- ▶ 目 的 「京田辺市民まつり2022」のコンセプトである「つながる
楽しむ 誇れる 京田辺」の実現に向けて、市民が市全域に
つながる路線バスネットワークを実感しながら「市民まつり」
を楽しむとともに、路線バス事業者が新型コロナウイルス感染
防止対策を徹底していることを周知することで公共交通の利
用を促進し、誇れる地域公共交通を将来につなげていくことを
目的として、実施。
- ▶ 方 法 広報ほっと京たなべ10月号と同時配布された市民まつりの
チラシに無料乗車券を印刷。市内のバス停で降車するとき
にきざり乗車券を示すと乗車賃が無料になる。
- ▶ 周 知 広報、ホームページ、SNS等
- ▶ 交付額 奈良交通（株）300千円×2日間=600千円
京阪バス（株）1,500千円×2日間=3,000千円
京都京阪バス（株）300千円×2日間=600千円
※各事業者の2019年度国土交通省提出の輸送実績報告書から2日
分の概算収入額をベースに算出した額（事務費や広告料を含んだ
額。）を当日の運賃（事業に要する経費）として市が交付。

実施概要・実施実績

実施実績（結果）

- ▶ 無料乗車券利用者 4,398名（前回〔R2〕2,429名）
⇒ ICカードや現金で乗車した人の無料の日の前週と事業実施日の比較を行うことで、乗車券を利用した人数を推定。無料乗車券を利用した人はグループでの利用が多かったとの運転手からのヒアリング及び停留所でのアンケート調査により、推定された人数を3倍し乗降客数を算出。この他にもバスの定員などからも算出。

- ▶ バス利用者数 前週に比べ大幅に増加
⇒ 3社計8,123人（10月29日（土）及び30日（日））の利用が、事業実施日には12,648人の利用があり、4,525人利用者が増加した。

- ▶ 対コロナ禍以前 20%増加
⇒ 令和元年同時期の利用者は10,806人。
3年ぶりに行動制限がない状況下で新型コロナウイルス感染症の拡大で必要な外出までも控えていた方に乗車を促す機会があったと思われる。
今回の事業目的は、市民が市全域につながる路線バスネットワークを実感しながら「市民まつり」を楽しむため、路線バスで多くの方に来場いただくことが主たる目的ではあったが、事業全体を通してバス事業者が感染防止対策を徹底していること、マスクの着用や大声での会話を控えるなど、新たな生活様式に基づいてバスを利用すれば感染のリスクが大幅に減少するということの啓発という側面もあり、大きな成果を果たしたと考える。

路線バス無料の日に寄せられた主なご意見

- ・親は子連れだと大変な時がありますが、子供は乗り物が好きなので、今回利用してとても楽しかったです！！
- ・(無料の日の) 回数を増やしてほしい。
- ・今日、久しぶりにバスにのりましたが、子どももいるのでまた機会があれば乗ってみようと思いました😊
- ・行きたい所へきちんと着けるか不安だったが、無料で乗車できるということで、一度試してみようという気になった。少し自信がついたので、また利用してみようと思う。良い機会をありがとうございました。
- ・普段は車で行くことが多いけど、無料の日ということで久しぶりにバスに乗りました。バス代は高速代や駐車料金よりも安いし、思っていた以上に便利だったのでこれからも出来るだけバスを利用しようと思いました。
- ・ふつうに便利。使う目的があれば使う。
- ・はじめて三山木～新田辺までバスを利用しました。いつも通らない道を通ったり、とても新鮮でした。運転している時では見えないけしきを見れたり、少しの時間でしたが、とても楽しめました。
- ・普段では行かない場所もバスを乗っていて初めて知ったこともあるので、バスを利用して今後行きたいと思いました。